

山手地域内バス路線補助事業 売布地域 A I オンデマンド交通実証実験運行の内容・補助金の詳細について

都市安全部 道路政策課

1 事業概要

売布山手住宅地域を運行する路線バスは、交通空白地域の解消、高齢者等の地域住民の外出手段の確保を図るために平成 14 年より路線バスの運行を開始した。

路線バス事業者、売布地域住民、市の 3 者が連携を図り、段階的な実証実験により地域住民の意見を聞きながら、路線バスによる運行から A I オンデマンド交通（※1）への切替を検討する。

※1：従来の定時定路線型の路線バスとは異なり、利用者の予約に対して A I による最適な運行ルートを設定し配車をリアルタイムで行い、運行エリア内のミーティングポイント（乗降場所）であれば、どこでも乗降が可能な交通

2 事業内容

令和 6 年度においては路線バスを運行しながら約 1 ヶ月間の実証実験を実施する。

昨今の高齢化の進展や免許返納者の増加により公共交通の必要性は増大しており、路線バスによる運行から既存車両よりも車両を小型化した A I オンデマンド交通への切替により、よりきめ細やかな運行と運行エリアの拡大で多くの交通弱者を救う。

【A I オンデマンド交通のメリット・デメリット】

メリット	デメリット
・バス停の増加	・予約の手間がかかる
・予約型のため乗りたい時間にバスに乗車できる	・運賃の値上げの可能性有
・待ち時間の短縮	
・小型車両による運行により道路が狭隘なため運行できなかった地域への運行が可能となる	

3 当初予算額

歳入：地域公共交通確保維持改善事業費補助金 16,000 千円×2/3=10,666 千円
（共創モデル実証実験運行補助※2）※3

※2：交通を地域の暮らしと一体として捉え、その維持・活性化を目的として複数の主体が連携して行う、地域の暮らしに関する持続的なサービス提供に関する取組の実証運行等に要する経費等を支援するもの

※3 実証実験の内容：公共交通の維持や利便性の向上、地域活性化を図ることを目的に近隣施設と連携を図りながら暮らしと一体となった交通を目指す

歳出：売布地域 A I オンデマンド交通実証実験運行補助金 16,000 千円
（内訳：運行経費（人件費、車両関連費等）、システム費、乗降拠点設置費等）

4 スケジュール

	令和 6 年度												
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
事業採択	●												
事業者、地域、市協議		→					事業者、地域、市協議						
準備、広報等						→			準備、広報等				
実証実験								→		実証実験			
分析・検証										→			分析・検証

※不測の事態等が生じれば想定スケジュールから変更する可能性があります

以上